

# 被災×社会的弱者

～最も被災しやすく、最も避難しにくいひとびと～

## 被災×中学生

— 生活者の目線から —

参加  
無料

申込  
不要

日時：平成27年8月15日(土)

16:00～18:00 (開場15:45)

会場：東京医科歯科大学 歯科棟南(歯科外来事務棟)4階 演習室

\* 歯学部附属病院 夜間休日入口からお入りになり、エレベーターで4階

右側に進み、特別講堂を右側に見ながら超えた、突き当りの部屋です

対象：ご興味のある方どなたでも

\* 60名を超えた場合は立席となりますが、ご了承ください

演

者

志津川地区仮設歯科診療所  
歯科衛生士

三浦 夕

志津川高校3年

三浦 壮馬

東日本大震災は、「想定外」の被災が多かったと言われます。宮城県南三陸町志津川地区においては、1960年のチリ地震津波において3m程度の津波が襲い、41名が犠牲となりました。宮城県沖地震での津波最高水位想定は6.9mであり、これをもとにした防災計画が組み立てられ、訓練が行われていましたが、東日本大震災での実際の津波高は防災対策庁舎で15.5m、遡上高は最大19mとなり、大きな被害が出てしまいました。

その中で、地域に生活していた方々の実際の経験談は、なかなか伝え聞こえてくることはなく、直接お話を聞ける機会となると思います。

また、現状での地域の復興や、これからの防災に向けてのご意見やご提案も、いただけたらと考えています。

終了後の懇親会に参加希望の方は、予約の関係で下記までメールください

連絡先：中久木康一(東京医科歯科大学顎顔面外科) nakakuki@biglobe.jp

共催：女川歯科保健チーム、Community Dental Service、新宿連絡会医療班、  
歯科保健研究会、SMILE WITH YOU Project

協力：日本災害時公衆衛生歯科研究会